

事務事業シート(事業仕分け)

整理番号	26	3	16	
担当部・課				産業観光部 農林課
シート作成担当者 係・氏名				林業係
連絡先電話番号				

事業名	森林施業補助事業			事業開始年度	事業終了(予定)年度
				平成20年度	
	大綱	3. 産業がいきいきと活発なまち			
	施策の柱	3-1 農林業の振興			
総合計画の位置づけ	重点的取組	■ 重点的取組・重点プロジェクト			
	取組名	生産性の高い林業の実現			

根拠法令等	区分	■ 要綱・要領
	名称	島田市林業振興事業費補助金交付要綱
事業区分		■ 補助金・交付金

目的	1 対象(何を、誰を、どの地域を)	対象	対象の範囲	単位
	■ 企業・団体 しずおか林業再生プロジェクト推進事業(県補助事業)や、森林整備直接支援事業(国補助事業)により間伐・作業道整備を実施する事業者等 しずおか林業再生プロジェクト推進事業(県補助事業)や中山間地域林業整備事業(県補助事業)、森林整備森林整備加速化・林業再生事業(国補助事業、林業・木材産業構造対策事業(国補助事業)により機械導入を実施する事業者等 上記に該当しない小規模森林作業道整備を実施する事業者等		① 申請団体	団体
			②	
2 意図(どのような状態にしたいか)	間伐や、林内作業道の整備を進めることで、林業生産額の増加を促す。また、森林が持つ土砂災害防止機能、水源かん養機能などの公益的機能を回復させる。	事業の成果	成果を表す指標	単位
			① 静岡県年間森林整備面積	ha
			② 静岡県木材生産量	万m3
3 手段(目的を実現するために、市が具体的にしていること)	○県補助事業・国補助事業に対する付け増し補助 ○小規模作業道に対する市単独補助	事業の実績	実績を表す指標	単位
			① 間伐面積	ha
			② 作業道延長	m
内容	1. 県補助事業、国補助事業に対する補助金の付け増し ○しずおか林業再生プロジェクト推進事業(県補助事業) 対象作業: 間伐、作業道 対象者: 事業者(森林組合、企業、NPO法人)、森林所有者 補助率: 2/3(県補助金1/3、市補助金1/3 ※ただし、平成25年度までは市補助金2/10) ○森林整備直接支援事業(国補助事業) 対象作業: 間伐、作業道 対象者: 事業者(森林組合、企業、NPO法人、認定団体)、森林所有者 補助率: 1/10(ただし、平成25年度までは2/10) 2. 機械購入補助 森林整備森林整備加速化・林業再生事業、林業・木材産業構造対策事業(国補助事業) しずおか林業再生プロジェクト推進事業、中山間地域林業整備事業(県補助事業) 対象: 高性能林業機械購入 対象者: 事業者等(森林組合、企業、NPO法人、認定団体) 補助率: 1/2、1/3(しずおか林業再生プロジェクト推進事業のみ) 3. 上記に該当しない小規模森林作業道整備事業 対象作業: 作業道 対象者: 事業者(森林組合、企業、NPO法人、認定団体)、森林所有者 補助率: 1/2 ◇ただし、上限20万円、かつ1メートル当たり2千円を限度とする。 要件(以下のすべてを満たす) ・受益面積5ha以下/幅員概ね2.5m/最大縦断勾配おおむね20%	③ 機械購入件数	件	

背景(必要性)	事業の開始時期における社会的背景や事業の必要性	木材価格の低迷や、後継者や労働者不足等により森林の整備が遅れ、森林施業意欲の減退や森林の持つ公益的機能が低下していた。そのため、林業再生及び森林が持つ公益的機能の持続的な発揮を目的として、間伐等の森林施業に関する補助制度を創設した。
	上記の状況はどのように変化しているか	林業再生を目指し、国の方針である『森林・林業再生プラン』が示されたことにより、国の施策がこれまでの「保育」から「利用」に方針転換された。それにより、今までは間伐しても林内に放置されていた木材が搬出されて利用する方向となり、搬出するための作業道の整備が必要となってきている。木材価格は相変わらず低迷し、森林整備が進んでいないため、引き続き森林施業の補助を行い森林環境の保全に努めていく必要がある。

効果・成果の説明	間伐を毎年約100ha行っており、徐々にではあるが手入れされた山が増えて、整備が進んでいる状況にある。また、事業方針の変更に伴い、切捨て間伐が主の「しずおか林業再生プロジェクト」から利用間伐主体の「森林整備直接支援事業」へ対象が移ったことにより作業道の整備が年々増加している。
----------	--

過去の 見直し内容	平成25年度まで 市付増補助 しずおか林業再生プロジェクト2/10 森林整備直接支援事業 2/10 平成26年度 市付増補助 しずおか林業再生プロジェクト1/3 森林整備直接支援事業 1/10 ※森林整備直接支援事業に搬出作業が加わるなどして木材の搬出が行いやすい立地条件の良い場所が対象となることが多くなった。そのため、木材の搬出が困難な立地条件が悪い場所でも間伐を推進するよう、しずおか林業再生プロジェクトの補助率を上げた。
廃止した場合の 影響	木材価格の低迷、後継者や労働者不足により森林整備が進んでいない状況のため、補助が停止されれば、更に間伐作業などの森林整備が進まなくなることが予測される。そうなれば荒廃森林が増え、土砂災害防止機能などの森林の持つ公益的機能が失われる可能性がある。
民間委託・民営化の 受け皿	■ なし → 市が直営で実施しなければならない理由 補助事業であるため、委託はできない(林業活性化・環境保全のためにも市が率先して進める必要がある。)
国・県・他市町、民間等での類似事業	森林整備直接支援事業(国事業)、森林整備森林整備加速化・林業再生事業(国事業)、林業・木材産業構造対策事業(国事業) しずおか林業再生プロジェクト事業(県事業)、中山間地域林業整備事業(県事業) 間伐実施事業費補助金(藤枝市)、林業関係事業費補助事業(川根本町)
市における 類似事業	なし
課題・今後の 方向性等	平成23年度より、国の施策が、「保育」から「利用」に方針転換され、森林法の改正、森林計画制度の見直しが行われた。更に補助制度の見直しも行われたことにより、施業に搬出作業が追加され、立地条件の良い場所が施業箇所になりやすい傾向となっている。そのため、立地条件の悪い箇所でも間伐作業などが行われるよう配慮する必要がある。

対象の範囲 実績・成果の指標	基準値 目標値	H23(実績)		H24(実績)		H25(実績)		H26(目標)	
		実績値	達成率等	実績値	達成率等	実績値	達成率等	目標値	達成率等
対象 ①申請団体 ② ③		5		15		19		14	
事業の 実績 ①間伐面積 ②作業道延長 ③機械購入件数	135	56	41%	108	80%	101	75%	120	89%
		917		4,470		7,730		5,500	
		1		1		2		1	
事業の 成果 ①静岡県年間森林整備面積 ②静岡県木材生産量 ③	10,000	9,059		9,790		9,500		10,000	
	50.0	25.6		26.0		31.7		45.0	

(単位:円)

事業費の内訳 平成25年度 決算見込み	内 容	金 額	積 算 等
	負担金、補助金及び交付金	122,825,000	森林施業補助事業 間伐 22,240千円、 作業道整備 9,785千円、 機械購入 90,800千円
合計	122,825,000		

(金額の単位:千円、但し市民一人当たり負担額の単位は円)

事業費	直接 事業費	財源 内訳	H23(決算)			H24(決算)			H25(決算見込)			H26(予算)		
			正規	嘱託	臨時	正規	嘱託	臨時	正規	嘱託	臨時	正規	嘱託	臨時
	財源 内訳	国庫支出金												
		県支出金	13,194			4,356			93,744			4,779		
		地方債												
		その他												
	人件 費	一般財源	4,220			18,308			29,081			34,416		
		財源計(a)	17,414			22,664			122,825			39,195		
	人件 費	職員		正規	嘱託	臨時		正規	嘱託	臨時		正規	嘱託	臨時
		人工(b)	0.4				0.4				0.4			
		1人当たり人件費(c)	7,246	1,680	1,741	7,246	1,680	1,741	7,246	1,680	1,741	7,246	1,680	1,741
		人件費(d=b×c)	2,898			2,898			2,898			2,898		
事業費合計(e=a+d)		20,312			25,562			125,723			42,093			
市民一人当たり負担額(f=(e)/10万人)		203			256			1,257			421			